

ワクチン接種を受ける人へのガイド

2024年9月更新

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン

【このワクチンの名前は？】

販売名	フルミスト点鼻液 FluMist Intranasal Spray
一般名	経鼻弱毒生インフルエンザワクチン

ワクチン接種を受ける人へのガイドについて

ワクチンの正しい理解と、重大な副反応の早期発見などに役立てていただくために、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、特に知っていただきたいことをわかりやすく記載しています。添付文書情報はPMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に掲載されています。 ※副反応：ワクチンの副作用のこと

【このワクチンの効果は？】

- ・ このワクチンは、次の目的で接種されます。
インフルエンザの予防
- ・ このワクチンの接種によりインフルエンザウイルスに対する抗体ができ、かかりにくくなります。

【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

- ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。
- 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。
- 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
 - ・ 明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
 - ・ 重篤な急性疾患にかかっている人
 - ・ 過去にこのワクチンに含まれている成分でアナフィラキシーをおこしたことがある人

- ・ 明らかに免疫機能に異常がある人、および免疫を抑える可能性がある治療を受けている人
 - ・ 妊娠している人
 - ・ 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適切な状態にあると判断した人
- 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。
- ・ ゼラチン含有製剤またはゼラチン含有の食品に対して、ショック、アナフィラキシー（じんま疹、呼吸困難、血管性浮腫等）等の過敏症のあった人
 - ・ 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の障害や発育の障害などの基礎疾患がある人
 - ・ 他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
 - ・ 過去にけいれんをおこしたことがある人
 - ・ 過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人
 - ・ 重度の喘息または喘鳴の症状がある人
 - ・ このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれがある人
 - ・ 鶏由来のもの（鶏卵や鶏肉など）に対してアレルギーをおこすおそれがある人
 - ・ 腎臓に障害がある人
 - ・ 肝臓に障害がある人
- 授乳している人は医師に相談してください。
- 次の薬を使用している人はこのワクチンを接種することはできません。

副腎皮質ホルモン剤（経口剤、注射剤）	プレドニゾロンなど
免疫抑制剤（経口剤、注射剤）	シクロスポリン（サンディミュン、ネオールなど） タクロリムス（プログラフなど）、 アザチオプリン（イムランなど）など

- 併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- アスピリンやサリチル酸ナトリウム等のサリチル酸系医薬品、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を含む他の薬を使用している場合は、医師に伝えてください。

- 妊娠可能な人がこのワクチンの接種を受ける場合、接種前約1か月間および接種後約2か月間は避妊してください。

【このワクチンの接種スケジュールは？】

この薬は、鼻腔内に使用する点鼻液です。

● 接種量および回数

年齢	1回量	接種回数
2歳以上19歳未満の人	0.2mL (各鼻腔内に0.1mLを1噴霧)	1回接種

● どのように使用するか？

- ・ ワクチン接種の際、被接種者が積極的に吸入（鼻ですする）する必要はありません。
- 医師が必要と認めた場合には、同時に他のワクチンの接種を受けることができます。

【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】

- ・ 接種当日は激しい運動をさけてください。
- ・ 接種直後と接種後5～14日の間は、健康状態によく気をつけてください。接種部位の異常な反応や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・ 接種後に、ショック（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）、アナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しいなど）がおこることがあります。アナフィラキシーは通常接種後30分以内におこることが多いので、この間接種施設で待機するか、ただちに医師と連絡をとれるようにしておいてください。
- ・ ワクチン接種を受けた人から周りの人へウイルスが伝染する可能性があるため、ワクチン接種後1～2週間は、重度の免疫不全者の人との密接な関係は可能な限り避けてください。また、授乳中の人にはワクチン接種後1～2週間は、乳児との接触は可能な限り控えてください。
- ・ 妊娠可能な人は、接種後約2か月間は避妊してください。

- ・ アスピリンやサリチル酸ナトリウム等のサリチル酸系医薬品、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を含む他の薬を使用する場合は、本剤を接種したことを医師に伝えてください。
- ・ 他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師または薬剤師に伝えてください。

副反応は？

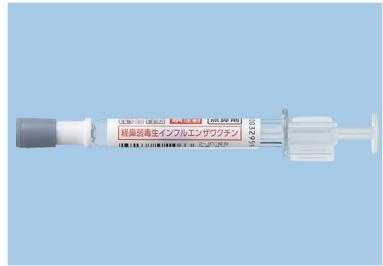
特にご注意いただきたい重大な副反応と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副反応であれば、それぞれの重大な副反応ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師に相談してください。

重大な副反応	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい

以上の自覚症状を、副反応のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副反応ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【このワクチンの形は？】

容器の形状	性状
	無色～微黄色の澄明又は僅かに白濁した液剤。 白色の粒子を含むことがある。

【このワクチンに含まれているのは？】

有効成分	A型株 A／ノルウェー／31694／2022（H1N1） A／タイ／8／2022（H3N2） B型株 B／オーストリア／1359417／2021（ビクトリア系統）
添加剤	精製ゼラチン、L-アルギニン塩酸塩、L-グルタミン酸ナトリウム、精製白糖、リン酸二カリウム、リン酸二水素カリウム、pH調節剤

【このワクチンについてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副反応などのより詳しい質問がある場合は、医師または薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
 製造販売元：第一三共株式会社 (<https://www.daiichisankyo.co.jp/>)
 製品情報センター
 電話：0120-693-132
 受付時間：9:00～17:30
 （土、日、祝日、当社休日を除く）